



笠間市 地域包括支援センター
KASAMA

包括ケア会議だより

Vol.6
R2.9.28

こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

『天高く馬肥ゆる秋』ですね。今年度の包括ケア会議は個別事例検討会として開催していますが、早半年を迎えました。今回は、地域の方、居宅ケアマネジャー、デイサービス職員、福祉部職員の皆さんにご参加いただきました。

支援困難事例について検討しました。

今回は、「ご近所に支えられ、何とか在宅生活が成り立っているケース」です。

本人は、ヘルパー利用を拒否しています。今までのように自立した生活を送ることが徐々にできなくなっているにもかかわらず、本人には自覚がありません。生活全般において、ご近所の方に手伝っていただいているのですが、慣れてくると当たり前になさえているようです。

今回、地域の方々も交えた個別会議を実施して、地域に住む方々がいかにひとり暮らしの高齢者を気にかけて、心配しながら生活を支えているか、本人の状況を把握し親族以上に支援しているかを実感しました。

「遠くの親戚より近くの他人」と言います。個人情報保護の問題もありますが、地域の方々とも話し合う機会を持ち、専門職と共にチームとして支援できれば、ひとり暮らし高齢者でも安心して在宅で生活ができるのではないのでしょうか？また、公的サービス、インフォーマルサービス等を活用し、ご近所の方々の負担を増大させない事も重要かと思えます。

人との交わりに不安がある今の時代です。専門職と地域の間には包括支援センターが入り、安心して話し合える場をつくっていきたく感じました。

8月の検討事例の経過報告

★「利用者からの過度な要求に支援者が苦慮しているケース」

9月現在、訪問介護事業所内で提供内容について検討段階です。

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡お願いいたします。

検討事例
募集中



笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871